日本行動計量学会会報 第 59 号 1993 年 10 月 15 日

行動計量学会報

日本行動計量学会（理事長 水野欽司）
事務局：〒152 目黒区大岡山 2-12-1
東京工業大学工学部繁桝研究室

計算機環境と行動計量学

馬場康維

10年ひと昔といったのは、いく昔も前のことで、最近は、2年あるいは3年ひと昔と言ってもおかしくないほど、我々を取巻く環境の変化が激しい。これは情報機器の発達と無縁ではあるまい。

昨年、行動計量学会は20周年を迎えた。この20年間の計算機環境の変わりようはめざましいものがある。私が学会に入会したのは、統計数理研究所に勤務するようになってすぐのように記憶しているが、学会発足の翌年くらいにあたるのではないかと思う。このころの計算機と言えば、まだカード入力によるバッチ処理が主体で、周辺にはパソコンは研究の道具ではないというような認識の人もいた。それが、学会が10周年を迎えたころには16ビットのパソコンが普及し始め、数年後には各種実用ソフトの花盛りとなった。その後のハードの進展は急激で、現在のパソコン、ワークステーションおよび関係ソフトの普及はご承知のとおりである。いまや、パソコンやワークステーションなしでは、論文も書けないのではないかと思えるような状況になっている。

現在、巷に溢れている統計ソフトによるアウトプットのすばらしさは20年前の比ではない。そのまま印刷原稿にしても十分な出来栄えで、せいぜいアルファベットとカタカナでしか表現できなかった昔の計算機による図表に比べれば格段の差がある。しかし、自分がユーザに徹してデータ解析を行おうとすると、多変量解析や数量化など、基本的には20年前とほとんど変らない方法を使っている。それだけ先人の考案した各種の手法がすばらしいといえるのだが、統計の分野に身を置くものとしては、計算機の発達に見合っただけのデータ解析の方法を提案して行かなければならないのではないかと思っている。

ところで、"学際的"な我が行動計量学会は、世の中の変化に対応した発展をしているのだろうか。人間に例えれば、成長途上なのか、成熟期なのかあるいはそれをも通り過ぎたのか、判断はつかないが、うまく環境に適応しつつ発展して行くには、その糧となるものをバランス良く吸収し(細胞の)新陳代謝を活発にして十分な若さを保つか、あるいは親が子を生むように次世代の行動計量学を作っていく必要があろう。

(ばば やすまさ，日本行動計量学会理事)

運営委員会の活動について

新運営委員会は，平成 3 年 4 月から活動を開始したが，その活動が軌道に乗ったのは 2 年目からであった．ここでは，これまでの活動状況を行動計量シンポジウム関係にしぼって，会員の参加状況などを報告させていただきたい．

第 1 回行動計量講演会

講演:戦後日本人論—行動計量学の新しい発展をめざして—
講演者:松原望 (東京大学教養学部)
司会:岩坪秀一 (大学入試センター)
日時:平成 4 年 2 月 22 日 (土)
場所:統計数理研究所講堂
参加人数:35 名

第 53 回行動計量シンポジウム

テーマ:ストレスの概念について
オーガナイザー:林峻一郎 (北里大学衛生学部)
司会:林峻一郎 (北里大学衛生学部)，末松弘行 (東京大学医学部)
講演
生理学的ストレス概念 (セリエ学説) から今日のストレス概念までの流れ: 末松弘行 (東京大学医学部)
心理社会的ストレス (事件型と日常ストレス・対処行動型): 林峻一郎 (北里大学衛生学部)
心身医学でのストレス研究: 野村忍 (東京大学医学部)
日時:平成 4 年 6 月 20 日 (土)
場所:統計数理研究所講堂
参加人数:32 名

第 54 回行動計量シンポジウム

テーマ:「生と死」の行動計量 (1)
オーガナイザー:丸山久美子 (聖学院大学)
司会・総括:松原望 (東京大学教養学部)
講演
「生と死」の心理学: 梶田叡一 (大阪大学人間科学部)
QOL(Quality of Life) の測定評価: 谷荘吉 (上尾甦生病院)
ガン性疼痛の測定尺度: 高宮有介 (昭和大学病院)
死生観の行動計量: 平山正実 (自治医科大学)
日時:平成 4 年 12 月 19 日 (土)
場所:統計数理研究所講堂
参加人数:46 名

第 55 回行動計量シンポジウム

テーマ:MDL 原理とその応用
オーガナイザー・司会:星守 (電気通信大学)
講演
MDL 原理:データ圧縮からデータ解析へ: 韓太舜 (専修大学)
MDL 原理とモデル推定への応用: 伊藤秀一 (電気通信大学)
確率的規則に基づくタンパク質 α ヘリックス領域予測: 馬見塚拓，山西健司 (NEC C&C 情報研究所)
日時:平成 5 年 2 月 27 日 (土)
場所:統計数理研究所講堂
参加人数:34 名
会員諸氏のうち,「こんなシンポジウムを」という希望をお持ちならば，積極的に運営委員会 (03-3468-3311 大学入試センター 岩坪) あてご連絡いただきたい．

会議記録

平成 4 年度第 6 回理事会

日時:平成 5 年 3 月 15 日 18 時〜20 時
場所:大学入試センター

出席者:水野 (理事長), 岩坪, 江川, 岡太, 田栗, 肥田野, 村上, 柳井, 繁桝 (事務局)
1. 前回議事録の確認
2. 会員の移動について
3. 各種委員会報告
4. 今後の活動方針について
5. その他

平成 5 年度第 1 回理事会

日時:平成 5 年 4 月 19 日 18 時～19 時 20 分
場所:大学入試センター
出席者:水野 (理事長), 江川, 杉山, 竹内, 宮原 (英), 宮原 (守), 村上, 柳井, 吉村, 繁桝 (事務局)
1. 前回議事録の確認
2. 会員の移動について
3. 長期滞納会員の取扱について：3 年以上の会費滞納者に対し，会費の督促状を出し，回答のない者に対しては退会とみなすことを決定した．この際に退会しても，滞納した分の会費に対する請求は依然として有効であることを明確にすることが確認された．
4. 各種委員会報告
5. その他:事務局より名簿作成について，会員に住所変更等の問い合せの往復葉書を出したことが報告された．

平成 5 年度第 2 回理事会

日時:平成 5 年 7 月 19 日 18 時～19 時 45 分
場所:大学入試センター
出席者:水野 (理事長), 池田, 岩坪, 岡太, 田栗, 肥田野, 柳井, 脇本, 繁桝 (事務局)
1. 前回議事録の確認
2. 会員の移動について
3. 平成 4 年度決算および平成 5 年度予算について
4. 第 22 回大会の開催校の決定：池田大会担当理事より，第 22 回大会の開催校を筑波大学としたいという提案があり，理事会としてこれを承認，かつ，総会に提案することとした．
5. 学会賞について:学会賞の候補者について脇本理事より学会賞委員会の報告があり，原案どおり決定した．
6. 各種委員会報告
7. その他

協賛する学会等のお知らせ

第 36 回自動制御連合講演会
日時:平成 5 年 10 月 27 日 (水)～29 日 (金)
場所:早稲田大学国際会議場 (新宿区西早稲田 1-6-1)

講習会:Artificial Life(人工生命)(有料)
主催:日本ファジィ学会，日本ロボット学会
日時:平成 5 年 11 月 10 日 (水)，11 日 (木)
場所:明治大学大学会館 5 階父兄センター会議室 (JR 中央線お茶の水駅下車徒歩 3 分)
問い合せ先:日本ファジィ学会事務局 (担当:荒木) TEL:045(212)8253 FAX:045(212)8256

講習会:こんなところにも使えるファジィ え～っ!!(有料)
主催:日本ファジィ学会
日時:平成 5 年 11 月 12 日 (金)
場所:ブラザー文化センター栄 7 階 706 号室 (〒 460 名古屋市中区栄 3-27-18)
問い合せ先:日本ファジィ学会事務局 (担当:荒木) TEL:045(212)8253 FAX:045(212)8256

第 10 回ファジィシステムシンポジウム (記念大会)
主催:日本ファジィ学会
日時:1994 年 6 月 1 日 (水) 午後，2 日 (木)，3 日 (金)，4 日 (土)
会場:関西大学 100 周年記念会館
一般講演申込締切:1994 年 1 月 17 日 (月) 必着
問い合せ先:〒 593 堺市学園町 1-1 大阪府立大

学工学部経営工学科田中英夫 (実行委員長) 電話:0722(52)1161 内線 2376FAX:0722(59)3340

関連する学会等のお知らせ

「Asian conference on Statistical Computing (ASC. アジア計算機統計学会) under the sponsorship of ISI and IASC」開催のお知らせ
開催期間：1993 年 10 月 27 日～30 日
会場：北京大学

シンポジウム 大学教育における統計学
主催:日本学術会議統計学研究連絡委員会
期日:11 月 4 日 (木) 午後 1:00～4:45
場所:日本学術会議大会議室 (東京都港区六本木七丁目)
報告:一般教養，専門基礎としての統計学
報告者:松原望 (東京大学教養学部)，尾池和夫 (京都大学理学部)，芳賀敏郎 (東京理科大学工学部)，大橋靖雄 (東京大学医学部)，池田央 (立教大学社会学部)，岩田暁一 (慶応義塾大学商学部)

第 33 回日本ＭＥ学会大会
会期:平成 6 年 5 月 12 日 (木)～14 日 (土)
会場:高松国際ホテル（高松市木太町 2191-1)
大会長:松尾裕英 (香川医科大学医学部)
連絡先:〒 761-07 香川県木田郡三木町池戸 1750-1 香川医科大学第二内科第 33 回日本ＭＥ学会大会事務局 TEL:0878(98)5111(内線 2622)FAX:0878(98)4962

シンポジゥム シリーズ 21 世紀を読む第 1 回
いま，なぜ，データライブラリーか—日本と海外のデータライブラリー—
日時：11 月 29 日 (月) 午後 2 時～5 時
場所：ＮＨＫ放送博物館講堂 (港区愛宕 2-1-1)
主催：データライブラリーに関する研究会
(代表：磯村英一 (東洋大学))
内容：データライブラリーとは何か．データライブラリーがあると，どんな効用があるのか．その問題点は何か．世界各国には，どのようなデータライブラリーがあるのか．いま，なぜ日本に本格的データライブラリーが要請されているのか．

第 8 回「大学と科学」公開シンポジウム「現代文明と人類の生存–技術の発展の光と影—」
日時：平成 6 年 1 月 29 日 (土)～30 日 (日)
場所：有楽町朝日ホール（東京都千代田区有楽町 2-5-11）

第 21 回大会抄録集をご希望の方は，大阪大学人間科学部で一部 5000 円で配布しています．

訃報

本学会理事の脇本和昌氏が，大会期間中の 9 月 4 日未明に逝去されました．謹んで追悼の意を表し，ご冥福をお祈り申上げます．

会員による著書

宮本正一 (1993)「人前での心理学」，ナカニシヤ出版．

会報担当者より

会員の声，会員による著書，会報への御意見等は，下記宛てにお願いいたします．

〒 114 北区西ケ原 4–51–21
東京外国語大学外国語学部
市川雅教